会　議　結　果

1　会議等名	平成24年度第1回伊豆の国市地域公共交通会議
2　開催日時	平成24年5月30日（水）14時00分～15時30分
3　開催場所	伊豆の国市役所長岡庁舎3階　第1・2会議室
4　出席者	出席委員15名 欠席委員2名 （寺山委員、平野委員） 代理出席3名 　伊豆箱根バス㈱　阿部氏（鬼頭委員代理） 　国交省中部運輸局静岡運輸支局　古橋氏（村上委員代理） 　県交通政策課　小林氏（宮﨑委員代理） 随行者 　国交省中部運輸局静岡運輸支局　八木氏 傍聴者 　伊豆市地域づくり課　山田氏、山口氏 事務局 　伊豆の国市政策企画課　名波課長、植松、塩谷
5　議事	**（1）「伊豆の国市地域公共交通基本計画（仮称）」の策定について** 　事務局より、「伊豆の国市地域公共交通基本計画（仮称）」の策定について、計画策定に向けた基本方針、計画策定の背景、公共交通の課題、計画の目的、計画の位置付け、計画で定める事項等について、資料№2により説明。 **委員**： 　伊豆の国市として喫緊な課題もあろうかと思うので、できるだけ早い策定をお願いしたい。 **（2）地域公共交通基本計画の策定に向けた調査事業の実施について** 　事務局より、本年度実施を予定している、地域公共交通基本計画の策定に向けた調査事業の実施について、資料№3により報告。 **委員**： 　この調査は国の補助事業を活用して行うものと思うが、この場合、6月30日までに申請書を提出しなければならないとされており、申請時点では、必要性、内容、委託先等が決まっている必要がある。他市町村の事例では、今の時期にはこれらの事項が概ね決まっているパターンが多かったが、先ほどの説明では、次回以降の本会議で協議予定とのこと。現時

	点での進捗を教えてほしい。 **事務局**： 国の補助申請の提出期限については 6 月 7 日とのことなので、現在、静岡運輸支局と相談させていただきながら準備を進めている。調査の大まかな仕様は固まっており、委託先は入札により決定したい。 **委員**： 他市町村の事例では、調査で何を聞くのか、どのくらいのお金がかかるのかということから協議している。調査内容については、そのような協議を行わずに委託先に任せるということか？ **事務局**： 調査項目については業者決定後に素案を作成し本会議で協議していただく予定。 **委員**： 市町によってやり方があると思うが、事前に何故調査が必要か、どのような結果になるのかについて協議しなければ、実施後にやる必要があったのかどうか判断できないと思う。調査の実施を反対するものではない。ただ、実施するのであればより良いものを実施した方が良いと思うが、スケジュールはどうか？ 事務局： 調査の必要性から協議してもらうのは時間的に厳しいので、事務局としては、本会議で調査を実施することについては了承いただき、調査内容については業者決定後に次回以降の会議で協議し、その後に調査を実施するというスケジュールで行きたい。 **委員**： 国の補助はぜひ活用していただきたいと思うが、交付申請後の協議で調査内容を変更することになった場合、国庫補助申請に該当しない部分を伊豆の国市が持ち出しで行うことは、国庫補助を活用することの意味も薄れてしまうことも懸念されるので、充分注意してほしい。 **(3) 自主運行バス（大仁駅前・田原野線）に関する要望について** 事務局より、亀石峠から修善寺駅までの間を運行している自主運行バスについて、田原野 6:30 発の始発場所を「田原野」から「亀石峠」に変更し長者原区内を運行してほしい旨、長者原区の児童生徒の保護者から要望があったことを報告す

	るとともに、同地区の小中学生の保護者を対象に実施したアンケート調査結果の概要について、資料№4 により説明。 **委員**： アンケート結果では運賃が高いという意見がある中で、運賃が上がるというのはどうか？ **事務局**： 長者原区の中学生は、行きは田原野から乗車するが、帰りは長者原区内の自宅近くの停留所で降車しており、長者原までの定期を購入しているので、利用者負担は変わらないと思われる。 **→　当該自主運行バスの始発場所の変更を承認** **（4）その他** **委員**： 奈古谷区では小学生が 80 人くらい自主運行バスを利用して通学しており、奈古谷停留所からは 50 人くらい乗車するが、当該停留所はカーブ付近にあるため、バス待ちをしている児童が危険ではないかという意見を区民からいただいた。通学途中の児童の列に自動車が突っ込むという事故も発生しているので、バス停の移設をお願いしたい。 **会長**： 横断歩道もなく、交差点付近でバスが停車していると交差点内で追い越しする車もあるだろう。バスが止まる位置をもっと西側に移動した方が良いかもしれない。この件については、警察、バス事業者、行政で検討させてほしい。
6　懸案事項	○調査事業について、国庫補助金の活用について再度検討が必要。 ○奈古谷停留所の移設については、警察、バス事業者、市で検討する。